

# 島根県芸術文化センター「グラントワ」飲食施設運営事業者募集に向けた サウンディング型市場調査 結果概要

## 1 調査の概要

目 的：グラントワ内飲食施設の運営事業者公募に向けた、業者の意見・ニーズの把握

実施方法：エントリーシートの提出後、対面によるヒアリングを実施

実施期間：（参加者募集）令和8年7月15日～8月12日 （ヒアリング）9月上旬～中旬

参加者数：3者（いずれも県内での飲食店経営者）

## 2 主な意見

### (1) 営業方針・コンセプト

- 立地面のハンディを補うため、施設を訪れる目的となる独自性のあるメニューや、企画展・公演と連動した企画が必要との意見がありました。
- グラントワの施設や雰囲気を生かした、施設全体としての統一感あるブランディングを求める意見がありました。
- 美術館・劇場の来館者層を意識したメニュー・サービスの必要性が挙げられました。

### (2) 営業時間・営業日・営業形態

- 基本はグラントワの開館時間に合わせた営業とする考えが多く示されました。
- 小規模事業者にとって、長時間のフル営業は人員確保の面で負担が大きいとの意見がありました。
- 公演時のみのビュッフェ営業、テイクアウトなど、柔軟な営業形態への関心が示されました。

### (3) 売上・採算性

- 使用料と光熱水費を合わせた固定費は負担が大きく、採算を確保するには相当規模の売上が必要との認識が共通していました。
- 来館者数の変動（公演日と平日の差）が大きく、仕入れや人件費の管理が難しいとの意見がありました。
- 売上連動型の使用料や、赤字時の減免など、経営状況に応じた柔軟な料金設定への要望がありました。
- 売上の見通しを立てるため、施設の利用状況に関する情報提供を求める意見がありました。

### (4) 従業員体制

- 小規模事業者では、夜間公演などに合わせた勤務体制の確保が課題との意見がありました。
- 営業時間や人員配置について、施設側と事前に調整できる仕組みが必要との意見がありました。

#### **(5) 施設・設備（厨房・内装）**

- 厨房設備は充実しているとの評価があった一方、既存設備の状態によっては清掃・再整備が必要との意見がありました。
- 既存機器を活用して初期投資を抑えたいとの要望が多く示されました。
- 厨房機器一式の更新には多額の費用がかかるため、初期投資の負担が参入の大きな障壁になるとの指摘がありました。

#### **(6) 契約期間・契約条件**

- 長期契約には慎重な意見があり、1年ごとの更新であれば問題ないとの意見がありました。
- 一方で、設備投資（リース期間は概ね7年）を検討するためには、ある程度の複数年の見通しが必要との意見がありました。
- 事業が軌道に乗るまでの期間や、経営状況に応じた中途解約について要望がありました。
- 一定期間経過後に、実績や施設の方向性に基づく評価を行うことについては、理解を示す意見がありました。

#### **(7) 県・財団からの支援**

- 個人事業者だけでは広報を十分に行うことが難しいため、県や指定管理者による広報・プロモーション支援が必要との意見がありました。
- 企画展・公演の情報を早い段階で共有し、関連したメニュー開発につなげたいとの要望がありました。
- 地域の観光関係団体（DMO等）や既存の飲食事業者団体との連携による、地域全体での情報発信への期待がありました。

#### **(8) その他の提案**

- テラスや中庭を活用したカフェ営業への肯定的な意見がありました。
- 館内職員向けのランチ提供や、結婚式・記念行事での飲食利用など、施設の多様な活用に関する提案がありました。
- 地元の食材や特産品を活用したメニューへの関心が示されました。